

平成22年度



たかろ たん けん
お宝探検
ウォーキング



あぎ ぶんだんしせきしりょうしゅう
阿木5分団史跡資料集

もくじ

阿木5分団の地図	・・・	1
阿木5分団の史跡などの紹介		
1. 阿木コミュニティ消防センター	・・・	2
2. 明知鉄道阿木駅		
3. 見沢クラブ		
4. 宮田整田碑		
5. 八幡神社	・・・	3
6. 宮田クラブ		
7. 阿木城跡		
8. 天神古墳		
9. 天神神社	・・・	4
10. 野田トンネル		
11. 農業集落排水処理場		
12. 阿木村信購販利組合倉庫		
13. 鳥居	・・・	5
14. 阿弥陀堂		
15. 庚申		
16. 馬頭観世音		
17. 四十八夜念仏供養	・・・	6
18. 道しるべ		
19. 細野の石仏		
20. 野田青野クラブ		
21. 三島神社	・・・	7
22. 三十三観音		
23. 薬師堂		
24. 牛房ヶ洞のつつみ		
参考資料		
阿木にもお城があったんです!	・・・	8

【阿木5分団】史跡などの紹介

	<p>1 阿木コミュニティ消防センター</p> <p>平成10年に建設された。消防車が2台おいてある。地域の会合にも利用される。</p>
	<p>2 明知鉄道阿木駅</p> <p>国鉄明知線が昭和8年に大井から阿木まで開通した。開通式では昼に花火をあげ、花火の中の落下傘をみんなで奪い合った。小学生が全員参加して、お祝いの村芝居も行われた。</p> <p>明知鉄道は昭和60年に国鉄明知線を引き継いで第三セクター方式の経営形態として発足し開業した。</p>
	<p>3 見沢クラブ</p> <p>平成16年に完成した見沢クラブ。</p>
	<p>4 宮田整田碑^{せいでんひ}</p> <p>耕地整理の記念碑。 交換や灌漑^{かんがい}（水を引くこと）などによって田んぼや畑を利用しやすくした。</p>



5

はちまんじんじゃ
八幡神社

約800年前に建てられた。裏山に阿木城があり、そこを守るために建てられ、その後阿木地区のすべてを守る神社として、阿木中の人たちから大事にされてきた。神様は本多別命ほんだわけのみことで今の天皇のご先祖様である応神天皇おうじん。毎年11月3日にお祭りが行われ、その年に多くのお米が取れたことを感謝し、みんなの体が丈夫であるように、仕事がうまく行くようにお祈りする。



6

宮田クラブ

平成14年11月25日に完成した宮田クラブ。上田のお地蔵堂から弘法様こうぼうさま（軸しちふくじん）、七福神、お地蔵様が移設され、クラブの中に安置されている。



7

あと
阿木城跡

1570年ごろ、安岐孫太郎あぎまごたろうが守っていた。孫太郎は、武田軍と戦って討ち死にした。その後、堀田氏ほったしが守っていたが詳しくは不明である。この堀田氏は見沢殿みざわどのとも呼ばれていた。野田にも砦がある。



8

てんじん こふん
天神古墳

古墳（昔の人のお墓）が2基ある。盗掘されてしまい、埋葬品などはなくなっている。この近くに住んでいた人々を支配していた人のお墓。南に向けた斜面に人々を見守るように作られた。

	<p>9 <small>てんじんじんじや</small> 天神神社</p>
	<p>学問の神様（菅原大神）を祀っている。1667年に建てられた。</p>
	<p>10 野田トンネル</p>
	<p>第2次世界大戦中に軍需工場を作るため、岩盤の厚い野田や久須田などに朝鮮の人々を連行してきて掘らせた。 戦後、亜炭を運ぶための近道として半田市の加藤銀三郎さんが私財を投じて開通した。昭和42年に壁にコンクリートが吹き付けられ、安全に通れるようになった。</p>
	<p>11 <small>のうぎようしゆうらくはいすいしよりにじょう</small> 農業集落排水処理場</p>
	<p><small>のうぎようしゆうらくはいすいしげんじゆんかんとうごうほじよしぎやう</small> 農業集落排水資源循環統合補助事業の阿木地区処理場。急ピッチで工事が進められている。</p> <p>事業年度：平成16年度～平成20年度 計画処理人口：1920人（計画戸数446戸） 計画日平均汚水量：519m³/日 概算総事業費：約23億3千万円 （うち処理場：約5億4800万円）</p>
	<p>12 <small>しんこうはんりくみあいそうこ</small> 阿木村信購販利組合倉庫</p>
	<p>昭和8年に明知線が開通したときに建設された。信購販利組合とは今の農協の前身である。 明知線で飼料などの貨物を運び、この倉庫に入れて販売していた。</p>



13 鳥居

鳥居だけがたっている。八幡神社から堀田氏屋敷までまっすぐ参道があった（現在の伊藤浅次郎氏の屋敷）。そのため、鳥居が今の位置にある。



14 阿弥陀堂

1100年ごろに祀られたもの。御本体は奈良で造られた寄せ木細工と思われる。



15 庚申

天神神社の6基の庚申。庚申の日に眠ると、体の中に住んでいる3匹の虫が天に昇って神に悪口を言うといわれている。そのため、庚申の日には眠らずに神を祀る。

※3匹の虫：三戸の虫といい、上戸の虫は頭に住み目を悪くし皺を増やし髪を白くし、中戸の虫は腸に住み内臓を悪くして悪夢を見させ、下戸の虫は足に住み命を奪い精を悩ます。



16 馬頭観世音

宮田の共同墓地内にある馬頭観世音。
馬頭観世音は、荷物を運ぶ馬が安全に働けるように祈ったり、途中で死んだ馬の霊を慰めるために作られた。
また、牛のためには牛頭観音がある。



17 四十八夜念仏供養

五輪、宝篋印塔、石仏が一ヶ所に集められている。明治の神仏分離令（神様と仏様を分けてお祀りせよという命令）により分けられた。阿木にはこうして分けられた石仏群が各地にある。

※宝篋印塔：方形の石を、下から基壇・基礎・塔身・笠・相輪と積み上げ、笠の四隅に飾りの突起があるものをいう。

※五輪：地輪（四角）・水輪（円）・火輪（三角）・風輪（半月形）・空輪（宝珠形）の順に積み上げられた塔。



18 道しるべ

江戸時代頃に昔の標識。『右 中津 いい沼』『左 大井 青野』と書いてある。



19 細野の石仏

お地藏様。



20 野田青野クラブ

野田と青野のクラブとして昭和55年ごろに完成した。

	<p>21 <small>みしまじんじゃ</small> 三島神社</p> <p><small>かんぶん</small>寛文7年(1667年)11月に建てられた。神様は<small>ことしろぬしのかみ</small>言代主神。 末社には昭和6年5月に北山より移転され合祀された<small>ひぶすなれい</small>火産霊 <small>じん</small>神が祀られている。</p>
	<p>22 <small>さんじゅうさんかんのん</small> 三十三観音</p> <p>三島神社の境内にある三十三観音(右)。1枚の岩に彫られた観音様は阿木ではここだけである。</p>
	<p>23 <small>やくしどう</small> 薬師堂</p> <p>三島神社の境内にある。もともとは神社と同じところに祀られていたが、明治の<small>はいぶつきしゃくれい</small>廃仏毀釈令(明治政府の仏教を排除せよという命令)により分離された。</p> <p><small>やくしにょらい</small>薬師如来：薬の仏 <small>こやすかんのん</small>子安観音：安産、子どものお守り <small>だいこくてん</small>大黒天：金もうけの仏</p>
	<p>24 <small>ごんぼら</small> 牛房ヶ洞のつつみ</p> <p>野田には川がないため、農業に使う水を確保することに苦労していたため、昭和8年ごろにため池が作られた。 昔は子どもの遊び場で、夏は魚釣りや<small>ひし</small>菱の実を取ったり、冬は凍った池でスケートをしたが、氷が割れて落ちた人もいたそう だ。</p>

知ってる？

阿木にもお城があったんです！

■阿木城はどこにありましたか？

阿木字大門前（見沢地区）にありました。阿木八幡神社裏の小高い山が阿木城跡です。登り口は恵那ディーゼル横の道を野内の方へ上がっていきと右側に見沢のお墓があり、そのお墓を通り越したすぐ左側に阿木城跡の標柱があります。そこが阿木城跡への登り口です。

■いつ頃作られたものですか？

私たちが考えるお城は、石垣、高い堀、やぐら、天守閣、御殿などのある権威の象徴とのイメージが強いですが、阿木城はもう少し古い年代（中世）に多く作られた城館跡だそうです。日本史の時代区分で中世とは平安時代の終わり頃から室町時代で、阿木城が作られたのは今から約660年前といわれています。

阿木城は大変保存状態がよく、中世城館としての特徴的な遺構を今でも残し、周辺部の中世城館と比較しても規模が大きなものとなっているそうです。城館とは城、館、砦などのことをいい、領主の居所を指したり防御施設を有するものの総称です。

■どのような目的で作られましたか？

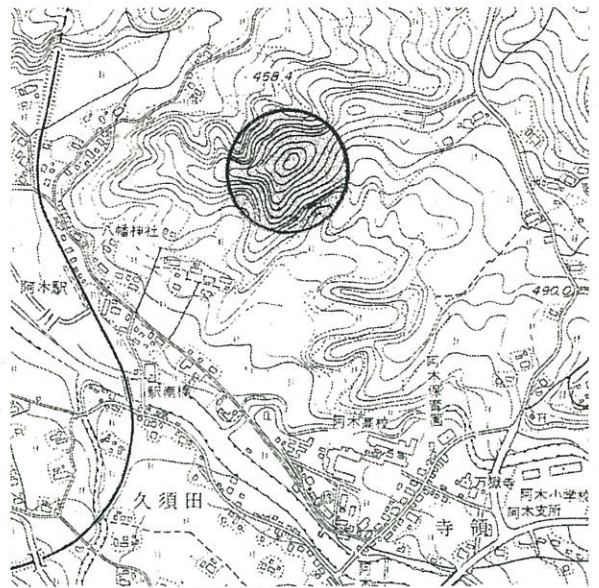
阿木城は岩村城の子城（分家城）といわれています。美濃国の東部であるこの地域一帯は遠山の荘といい、鎌倉時代から遠山一族が勢力を張っていました。戦国期には領内に遠山十八城と呼ばれる18の子城を構え、阿木城もそのうちの一つと思われます。特にそのうちの有力な宗家である岩村、苗木、明智の城主を遠山三人衆と呼びました。

■誰が住んでいましたか？

阿木城の前に岩村城について少しお話しします。源頼朝の家来で伊豆に住んでいた加藤景廉が美濃国東部を治めるために地頭として1185年に遠山の荘に入り岩村城館を造りました。その後加藤氏は遠山の姓を名乗り、遠山景任が亡くなる1560年代まで遠山一族がこの地を治めました。

さて阿木城ですが、岩村城主遠山景長の頃（1330年頃）分家したと思われます。この後、いつの頃か堀田土井守という者が見沢に住んでいて阿木城を守っていたとされています。また、久須田にも少しばかり高い土地に屋敷跡があり、堀田といっています。そこから一直線に阿木川を渡り八幡神社に通じる道があったようです。今でも堀田屋敷と八幡神社の中間地点に鳥居が建っています。

堀田氏は阿木城に立てこもり武田軍と戦いましたが、武田の軍勢になんなく敗れ、城も焼かれてしまいました。岩村城も武田軍の手に落ちました。その後は織田、徳川時代と移り変わり、徳川時代にはお城は使用されず代官所が置かれました。（文・渡辺和義）



阿木城のあった場所



阿木城を南東側から見た図

初代	遠山左衛門三郎景賢
二代	遠山左衛門太郎景経
三代	遠山太郎景高
四代	遠山又太郎景平
五代	遠山阿木孫太郎
六代	遠山孫次郎

歴代の阿木城主

